

**Science Report of Kushiro City Museum**

# 釧路市立博物館報

**NO.428**



**2021.9**

## 「私と博物館」

私が初めて博物館を訪れたのは、今から四十数年前、私が小学生の頃でした。当時の“市立郷土博物館”は、鶴ヶ岱公園のひょうたん池のほとりに立つ、かなり年季の入った建物で、ある休日にクラスの友人たちと見学しに行ったものと記憶しております。

訪れてみてまず驚かされたのが、「小人10円」という当時としても破格の入館料で、友人と互いに顔を見合わせて思わず「安い！」と驚嘆の声を上げたものです。館内に入ると、正面に2階へと続く階段があって、踊り場の壁には大きなシュモクザメのはく製が掲げられており、これまで図鑑でしか見たことのない特徴的なフォルムを持つ姿の実物を見ることができ、知的好奇心が大いに満たされたものでした。歩くときギシギシと床板の音が鳴る館内を、魚や昆虫、動物などいろいろな生き物の標本やはく製、また釧路というまちの歩みを語る数々の収蔵品など、多彩な展示物に驚きと大きな関心を持って見て回ったことを覚えています。

そしてまたある日のこと、当時の人気スポットだった青少年科学館に遊びに行ったおり、近くに立つ見慣れない建築物が目にとまりました。灰白色のコンクリートがむき出しになった巻貝のような形をした建物には「埋蔵文化財調査センター」との看板が掲げられており、館内には学校の授業で学習した土器や石器が真新しいショーケースに陳列されていて、静謐な空気の中、遥か太古に釧路の地に生きた人々の暮らしを思い浮かべる時間を過ごしました。

その後、鶴ヶ岱公園にあった郷土博物館は、現在の場

所に建つ博物館に移転となり(埋蔵文化財調査センターの“巻貝”状の形状が、博物館全体の建築の一部であったことはその時にわかりました)既に三十数年が経ち、私も縁あって博物館長の職を仰せつかり、市民の皆さまはじめ、国内や海外からの多くのお客様をお迎えしているところであります。

博物館の役割は、学芸員が日々収集した情報や研究の成果を発信し、地域の皆さまに釧路に関する知識を深めていただくとともに、他の地域・国から来られた方々に釧路というまちを知っていただくための一助となるということにほかなりません。“釧路”の代名詞とも言うべき豊かな自然環境のエッセンスである、植物、魚類、鳥類、昆虫などの各分野をはじめ、まちの発展に関わってきた産業や人々の暮らし、文献資料が残されていない時代の生活の様子などをいまの社会に伝える歴史の分野、さらには近年、関心の高まりを見せているアイヌ文化に関することなど、学芸員が持つ豊富な知見を、柔軟な発想力をもって皆さまに発信することはもちろん、少年時代の私が博物館を訪れたときに感じたような驚きや“わくわく感”を、将来の釧路のまちの主役となる子どもたちに伝えていくことも、博物館の大切な使命であると考えております。

浅学非才の身ではありますが、皆さまのご指導、ご協力をいただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

高 嶋 晃 治 (釧路市立博物館 館長)

## 9月号目次

「私と博物館」	高嶋 晃治	2
交換される標本たち—オランダ植物防疫機関 (NPPO-NL) との標本交換の記録—	土屋 慶丞	3
まちなか企画展「くしろの文様」を終えて	澤田 恭平	5
キタサンショウウオの現状と課題、保護に向けた取り組み	野本 和宏	7
釧路湿原の鳥しらべ隊!	貞國 利夫	8
「まちなみ散歩」を振り返って	戸田 恭司	9
夏休み子ども自由研究応援隊 in イオンモール釧路昭和・イオン釧路店を実施しました	貞國 利夫	10
チャランケチャシ	佐藤 加奈・黒坂之美子	11
博物館ニュース		12

〈表紙写真〉今夏は企画展「湿原の忍者 SHINOBI BIRD〜こっそり暮らすクイナたち〜」を開催しています。そこで取り上げている鳥の中でも、特に絶滅の危機に瀕しているのが写真に映っているオオヨシゴイです。日本へは夏に繁殖のためやってくる渡り鳥で、かつてはそれほど珍しくない鳥でしたが、今ではごくごく限られた場所では確認されていません。その中でも、釧路湿原は定期的に渡来する貴重な場所になっています。(貞國 利夫)

釧路市立博物館館報 No.428 2021年9月号 2021年(令和3年)9月30日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎ 0154-41-5809(博物館)・43-0739(埋蔵文化財調査センター)/ FAX 0154-42-6000

釧路市立博物館Web <https://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

museum@city.kushiro.lg.jp(博物館) maibun@city.kushiro.lg.jp(埋蔵文化財調査センター)

発行責任者 高嶋 晃治 編集 貞國 利夫・石川 孝織 印刷 (株)藤プリント